

# 出前講座「大仏パネル」学習指導案

日 時：平成 29 年 5 月 28 日（月）  
11:25～12:10（4 校時）

場 所：出雲市立荒木小学校体育館

対象者：同校 6 年生 69 名

指導者：〇6 年部教職員

〇島根県立古代出雲歴史博物館

熱田貴保・矢野健太郎

## 1. 主題（主題名）

「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い

## 2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。
- ・島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

## 3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
11:25～11:35（10分） ①はじめに～島根の歴史・文化の魅力～	・出雲市内の遺跡の考古遺物を持参する
11:35～12:00（25分） ②「奈良の大仏」について、その巨大さについて体験を通して学ぶ。 ※1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。	・「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。
12:00～12:10（10分） ③奈良の大仏について、造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。	・造立の背景、大仏開眼式について説明する。 ・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。

## 4. 準備物等

- ・〔体験用具〕「奈良の大仏」の実物大パネル、考古遺物
- ・〔説明用具〕写真パネル

## 5. その他

- ・大仏パネル準備のため、11時00分から体育館を使用させていただければと思います。